

常駐期間突入

青年部が山場を盛り上げる！

本社要請行動実施

11月14日（月）13:30より、本部青年部は三役はじめ6名で、本社要請行動を行ないました。

冒頭、池尻青年部長が「2022年度年末手当満額回答を求める要請書」を読み上げ、①基準内賃金×2.9か月の満額回答、②職場の要員需給を踏まえた新規採用の確保、③乗務員の要員不足と教育体制の改善の3点を要求しました。

- ・2020年度年末手当より厳しいという考え方は、青年部員のモチベーションに関わる。要員不足により特休買上げが常態化している職場も多数ある。特に奥羽本線の不通で迂回等の対応を行なった青年部員には、職責を果たしたという自負がある。青年部員のモチベーション向上のためにも、2.9か月の満額回答は必須である！
- ・コロナ第8波が拡大している中、会社は「要員不足なら列車を運休しても良い」と言っているが、止めていない。これは職場で青年部員が奮闘した結果であり、会社はその努力に報いる必要がある。感謝の言葉だけではなく、満額回答という目に見える形で還元すべきである！
- ・青年部員は今日明日の生活を重視している。長期的なことを考えれば営業や設備に投資することは理解するが、若年退職を防ぐためにも人に投資すべきであり、それが今年末手当である！
- ・原油高、原材料費の高騰、円安等により13か月連続で物価が上昇しており、青年部員の生活はひっ迫している。今年末手当の生活給としての要素が非常に高まっている！

回答指定日まであと3日。

職場集会や常駐で青年部員が結集し、満額回答獲得にむけ、会社に生の声を届けよう！！